

〈1〉 フォン・デア・ライエンの油断！ 中国の希土輸出規制と EU の苦境

在独ジャーナリスト 熊谷 徹
(元 NHK ワシントン特派員)

中国政府は、米国との関税紛争の過程で、2025 年 4 月に「現代の製造業のコメ」レアアース（希土）の輸出規制を強化した。その影響は、米国だけではなく、物づくり大国ドイツなど欧州の産業界にも及んだ。現在中国と EU の関係は「氷河期」の状態にあり、中国から EU への希土の流れが正常化するまでには時間がかかりそうだ。

2025 年の春、希土市場で圧倒的に強い立場にいる中国が、その支配力の大きさを世界に誇示した。中国の「希土戦略」発動のきっかけは、米国との関税紛争だったが、その影響は米国に留まらず世界中の製造業界にも及んだ。

中国政府は 4 月 4 日にテルビウム、スカンジウム、ジスプロシウム、サマリウム、ガドリニウム、ルテチウム、イットリウムの 7 種類の重希土元素と軽希土元素と、これらを使った製品（永久磁石など）について、輸出管理を強化した。（テルビウムなどの重希土元素は相対原子質量が比較的大きく、イオン半径は比較的小さい。中国は重希土元素の精錬・加工については世界で独占的な立場にある。中国は精錬・加工に使う希土のほぼ半分をミャンマーから輸入している）

中国政府は、これらの希土または希土を使った製品、化合物などを外国に輸出する企業に対して、中国商務部の許可を取得することを義務付けた。なお欧米の報道機関は、今回の輸出規制措置は、これら

の 7 種類の希土元素だけではなく、ネオジム、鉄、ホウ素を使ったいわゆるネオジム磁石（NdFeB magnet）の輸出も規制するものと報じている。

ネオジム磁石は、1984 年に日本の住友特殊金属の佐川真人氏が発明したもののだが、オーストラリアの金属事業に関するウェブマガジン・ディスカバリーアラート誌によると、今日では中国がネオジム磁石の生産能力の約 87%を握っている。ネオジム磁石は電気自動車（BEV）や風力発電タービンの製造において極めて重要な素材だ。（その他中国は、世界の希土の分離・精錬能力の 85%、世界の希土採掘能力の 63%を握っている）

中国の磁石製造企業や輸出企業は希土や関連製品を輸出しようとするたびに、その最終的な用途や、最終的な製品の構造などを証明する書類の提出を命じられた。

中国商務部には多数の希土輸出許可申請が殺到したため認可作業が滞り、輸出許可の交付が大幅に遅れた。欧州の製造業界では、「今年 6 月上旬の時点で中国商務部が認可した許可申請の比率は、全体の 10%に満たない」という見方が出た。

なおディスカバリーアラート誌によると、中国でネオジム磁石などの永久磁石を生産して外国へ主に輸出している企業は、次の 4 社だ。

・ Baotou Tianhe Magnetics (欧州の自動車メーカー

にとって、最も重要な永久磁石の製造企業兼サプライヤー)

- **Zhongke Sanhuan** (中国で二番目にネオジム磁石の製造量が多い企業)
- **Baotou INST Magnetic** (主に工業製品のための永久磁石を製造)
- **Earth-Panda Advanced Magnetic Material** (主に家庭用電気製品用の永久磁石を製造)

ディスカバリーアラート誌は、「これらの4社は、中国の永久磁石の生産能力の約42%を握っており、中国政府が輸出規制を始めてからも、商務部から優先的に輸出許可を交付された」としている。

中国の希土輸出規制は世界中の製造業界を震撼させた。中国で精錬・加工された希土や、希土を使った永久磁石は、兵器、電気自動車(BEV)、産業用ロボット、携帯電話、ドローン、風力発電設備、AI関連機器、医療機器などの製造に欠かすことができない。

い。上記の7種類の希土の内、特にイットリウム、ガドリニウム、ルテチウムは放射線や赤外線感知システムに使われるため、防衛産業にとって不可欠の素材である。

このためドイツの経済界からは、「希土の輸出がさらに遅れた場合、我が国の製造業界は深刻な危機に陥る」という声が出た。

希土に関する欧州の対中依存度は高い。欧州委員会が2023年に公表した「EUのための重要原材料に関する報告書」によると、今回中国が輸出を規制した7種類の希土の内、スカンジウムとサマリウムを除けば、中国が世界の需要量の100%を供給している。EUの対中依存度も、スカンジウムとサマリウムを除けば100%。中国からの輸出が止まれば、EUや米国のメーカーでは生産ラインがストップする危険がある。

図表1 中国が2025年4月に輸出を規制した7種類の希土の、中国の世界市場でのシェアとEUの依存度

HREE：重希土元素

LREE：軽希土元素

希土の名称	(英語)	EUによる分類	中国の供給国としての世界シェア	EUの中国依存度	主な用途
テルビウム	terbium	HREE	100%	100%	照明の蛍光体 モニター ソナー センサー
スカンジウム	scandium	なし	67%	67%	戦闘機の機体強化 ミサイルの先端部 照明体 燃料電池
ジスプロシウム	dysprosium	HREE	100%	100%	永久磁石 レーザー ハードディスク 原子炉の制御棒
サマリウム	samarium	LREE	85%	85%	永久磁石 レーザー 触媒 戦闘機の機体 原子炉の制御棒
ガドリニウム	gadolinium	HREE	100%	100%	原子炉の制御棒 ソナー 放射線感知システム 造影剤 燃料電池
ルテチウム	lutetium	HREE	100%	100%	放射線感知システム 触媒 ガンの放射線治療

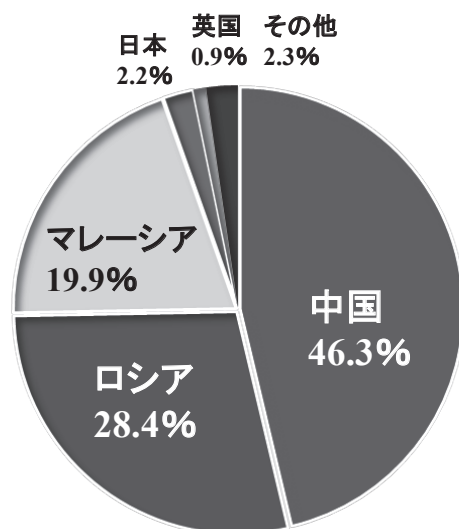
イットリウム	yttrium	HREE	100%	100%	LED マイクロ波送信装置 レーダー ソナー 赤外線感知システム 超伝導体 モニター レーザー ガンの放射線治療
--------	---------	------	------	------	--

資料：欧州委員会など

<https://op.europa.eu/en/publication-detail/-/publication/57318397-fdd4-11ed-a05c-01aa75ed71a1>

欧州統計局によると、2024年にEUは17種類の希土元素を1万2900トン輸入した。これは前年比で29.3%の減少だ。EUが2024年に輸入した希土元素の内46.3%が中国から輸入された。二番目に多かったのはロシアで、28.4%だった。つまりEU加盟国の産業界にとって不可欠な希土の74.7%が、中国とロシアという、議会制民主主義を持たず、人権保護や法治主義を重視しない強権国家から輸入されていることになる。

図表2 2024年のEUの希土元素（17種類）の輸入国の内訳



資料：欧州統計局 2025年4月9日

<https://ec.europa.eu/eurostat/web/products-eurostat-news/w/ddn-20250409-1#:~:text=Almost%20half%20of%20rare%20earth,imports%2C%20or%202%20600%20tonnes.>

＊ドイツ製造業界が「金属危機」を懸念

ドイツ産業連盟（BDI）のヴォルフガング・ニーダーマルク専務理事は、ドイツのニュース雑誌シュ

ピーゲル（2025年6月7日付電子版）に対するコメントの中で、「中国政府が輸出規制を続けた場合、製造業界のあらゆる部門で生産停止などの事態が起きる可能性がある。これは『金属危機』と呼ぶべき事態であり、2022年にロシアがパイプラインを通じた天然ガス供給を止めたために発生したエネルギー危機に匹敵するだろう」と警告した。

BDIは特に希土の供給遅延による影響が大きな業種として、自動車、機械製造、プラント製造、エネルギー、兵器産業を挙げた。ドイツ連邦統計局によると、自動車と機械製造は、2023年の同国の粗付加価値（Gross Value added）の36.5%を生み出した、最も重要な業種である。

ドイツ電気・電子工業連盟（ZVEI）のヴォルフガング・ヴェーバー会長も、ドイツの日刊紙フランクフルター・アルゲマイネ（FAZ）の6月5日付紙面で「半導体やスマートフォン、コンピューター部品などの製造は、希土の供給なしには難しい。企業経営者の間では懸念が募っている。希土の在庫が数週間もしくは数カ月分しかない企業もある」と窮状を訴えた。ドイツ自動車工業会（VDA）のヒルデガルド・ミュラー会長も同紙に対して、「状況が直ちに改善されない場合、自動車生産の遅れや生産ラインの停止が起きかねない」と語った。

欧州議会は2025年7月10日、「中国は世界の希土市場における、事実上独占的な立場を悪用している」として、希土の輸出規制を非難する決議を採択した。欧州議会は欧州委員会に対して、EU域内での希土採掘へ向けた努力を強めるなどして、希土の自給率を少しでも高めるよう要請した。さらに欧州議会は、人権侵害などを行っていない他の貿易相手国との間で、希土調達のためのパートナーシップを結ぶことも欧州委員会に対して要求した。

ドイツのキリスト教民主同盟（CDU）に属するヒ